

TOPIX
トピックス

令和5年度 年度末発表

医療部門は2/10(土)に、福祉部門は3/8(金)に年度末発表を行いました。

今年度は医療部門・介護部門ともに、集合・学会形式での発表となり、発表に対する活発な意見交換もされ活気のある年度末発表会となりました。

なお、ご参加できなかった方も発表を閲覧できるよう、動画にまとめておりますので、ぜひご視聴下さい。



医療部門

順番	演題名	部署	発表者
1	物品カートの清浄度調査 ～物品カートは1週間でこんなに汚れている～	手術室クラーク	元浦 久美子
2	災害経験のない看護師の防災に対する現状調査 ～アクションカードを使用したシミュレーションを通して～	手術室看護師	久川 祐佳里 齋木 香歩
3	当院血管内治療における診療放射線技師の役割とタスクシェア/シフトへの試み	放射線科	中出 裕
4	食事支援の第一歩	栄養管理科	山本 厚子
5	疑義照会への取り組みと今後の課題 ～改善・対策を踏まえて～	薬剤科	岩西 伸晃
6	タスクシフト・タスクシェア ～新しい職種の雇用を提案～	法人本部	竹下 拓哉
7	退院支援の実態調査と退院指導の定着化を目指して	回復期病棟	竹山 達也 西浦 友美
8	施設とより良い連携を目指して ～外来部門からのアプローチ～	地域連携室	谷川 泰寛
9	医事部窓口業務改善 ～患者さんに寄り添う窓口を目指して～	医事部	増田 枝里子 岸谷 朋美
10	大腸内視鏡検査前処置の対応統一化をめざして ～患者負担軽減のために～	外来看護師	烏野 麻衣子
11	思考は運命を変える ～患者の不安を通して考える看護師の役割・存在～	急性期病棟	鈴木 里佳
12	大腿骨近位端骨折患者における入院時・退院時の 骨格筋指数と退院時の移動能力との関連性について	リハビリテーション部	石田 亮太
13	大腿骨近位部骨折の早期手術と二次骨折予防に向けた取り組みについて	医局 整形外科	中村 卓

福祉部門

順番	演題名	部署	発表者
1	デイサービスって楽しい! コロナ禍を経てジリタスアムリタ3年目の取り組みについて	デイサービスセンターアムリタ	上野 範子 岩淵 かおり
2	介護とリハの取り組みと連携 (One team へ向けて)	栄公クリニック デイケア	藤原 智子 井上 雄太
3	変わりゆく訪看 ～ICT 化を取り入れながら～	訪問看護ステーションナース栄公	天野 勝弘
4	福祉用具から始まる	栄公福祉用具貸与事業所	白井 大祐
5	栄公ケアプランセンターの現状課題と今後の取り組みについて	栄公ケアプランセンター	北原 周一郎
6	郷土料理を通して、栄養管理科の組織力向上を目指す	管理栄養科	鍋谷 満代 田代 幸代
7	環境設定 ～個別ケアを行える環境作り～	グループホームアムリタ	宇根 朋子
8	「シームレスケア」 利用者・家族を支える栄公会	ヘルパーステーション栄公	泉谷 武志
9	気づかされた介護職としての役割り ～ケアサポーター導入を通して～	介護老人保健施設栄公苑	田中 美希
10	共用型デイサービス ～延長サービスって何?～	グループホーム栄公	加知 由美子

令和5年度 年度末発表
発表一覧ページ

●公開範囲について

限定公開でアップしてますので、通常のYoutubeの検索には表示されません。一般の方は閲覧不可です。
職員が見るのはOKですが、URLを外部の人へ伝えるのはNGです(職員、利用者の顔が掲載されてるため)。

※スマートフォンをお持ちでない方などは、サイボウズの「掲示板」でも閲覧可能ですのでご確認ください。

年度末発表 優秀演題

医療・福祉部門の年度末発表につきまして、栄公会執行部による審査が行われ、優秀演題が選ばれましたので発表いたします。

年度末発表
優秀演題

病
院

福
祉

当院血管内治療における診療放射線技師の役割と
タスクシェア / シフトへの試み

放射線科

中出 裕

施設とより良い連携を目指して
～外来部門からのアプローチ～

地域連携室

谷川 泰寛

医事部窓口業務改善
～患者さんに寄り添う窓口を目指して～

医事部

増田 枝里子
岸谷 朋美

思考は運命を変える
～患者の不安を通して考える看護師の役割・存在～

急性期病棟

鈴木 里佳

介護とリハの取り組みと連携
(One team へ向けて)

栄公クリニック
デイケア

藤原 智子
井上 雄太

郷土料理を通して、
栄養管理科の組織力向上を目指す

管理栄養科

鍋谷 満代
田代 幸代

気づかされた介護職としての役割り
～ケアサポーター導入を通して～

介護老人保健施設
栄公苑

田中 美希

共用型デイサービス
～延長サービスって何？～

グループホーム栄公

加知 由美子



令和 6 年能登半島地震への災害対応ボランティア

令和 6 年能登半島地震への災害対応ボランティアとして、佐野記念病院の医師・看護師・理学療法士の 5 名のメンバーで石川県へ出務しました。

支援内容は、継続的な避難所への医療提供の流れの 1 枠として、医療チームとして避難所で過ごされている方々の体調の確認やヒアリングを行いました。

実際に現地で多くの方のお話しさせていただき、地震から 2 ヶ月、医療的なケアはもちろんメンタルケアも特に必要であるということを確認させられました。



骨粗しょう症地域連携セミナーにて講演をしました

3月7日(木)に「地域で診る整形外科疾患 in 泉州(製薬会社主催)」が開催され、整形外科の中村卓先生が演者となり「大腿骨近位部骨折の早期手術と二次性骨折予防に向けた院内の取り組み」をテーマに講演をされました。

当院で行われている早期手術の取り組み FLS チームの活動、実績数を発表していただきました。

